

## アンケート調査に関するお願い

拝啓

残暑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、集中治療領域でのリハビリテーション(以下、リハ)は、超早期から、行われるようになってきています。そのような状況の中、ICUなどに専属で理学療法士を配置する施設などが増えていることも耳にし始め、集中治療領域ではリハ関連職種の必要性が年々高まっているように思います。

今回私達は、『集中治療領域の医師・看護師による理学療法についての第三者評価』を行う運びとなりました。本研究は医師に対しては日本集中治療医学会にご協力をいただき日本集中治療医学会評議委員の方々に、また集中治療に関連した看護師を対象としアンケート調査を行うことになりました。大変恐縮ですが、理解のもとアンケートにご協力いただければ幸いです。

アンケート自体は10～20分少々で完了する内容になっております。また、施設名などのプライバシー配慮に関しましては、厳重に行います。今後の当該分野での医師、看護師、理学療法士、の方向性を導くためにも重要な調査と考えております。ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、第41回集中治療医学会学術集会での発表ならびに理学療法学での論文投稿にて、本アンケートの結果報告と変えさせていただきたいと考えております。また内容の一部は協同研究者により上記報告以外でも使用する可能性があることをご了承ください。

2013年9月

研究代表者 岡山赤十字病院 リハビリテーション科 小幡賢吾

協同研究者 【医師】

氏家 良人 (岡山大学大学院 救急医学 現、集中治療医学会理事長)

【看護師】

小松 由佳 (杏林大学医学部附属病院)

卯野木 健 (筑波大学附属病院)

【理学療法士】

高橋 哲也 (東京工科大学), 山下 康次 (市立函館病院),

横山 仁志 (聖マリアンナ医科大学病院), 嶋先 晃 (市立砺波総合病院),

倉田 和範 (津山第一病院), 山内 康太 (製鉄記念八幡病院),